

北部病院だより 第141号(2020.3)

Showa University Northern Yokohama Hospital

- 【巻頭言】手指の障害 ー現在と未来
- 【医学講座コーナー】ACP「アドバンス・ケア・プランニング」とは
- 【TOPICS】大黒ふ頭クルーズ船へDMAT隊が出動しました
- 【医師の配属・異動・退職】
- 【TOPICS】ロビーコンサートのお知らせ
- 【TOPICS】がん相談支援センターについて
- 【TOPICS】栄養科だより ～3月3日ひな祭り～
- 【TOPICS】オカピの卒業について
- 【患者さんからのご意見・ご要望】
- 【診療統計】
- 【お知らせ】がんサロンのお知らせ
- 【編集後記】



昭和大学
横浜市北部病院

巻頭言 手指の障害—現在と未来

手指の痛みは大変辛いものです。手指の感覚は、背中に比べて敏感です。カナダの脳神経外科医のペンフィールドは、運動野と感覚野と体の各部位との関係割合を調査し、手指と口に対応する脳の面積がとても大きいことを示しています。つまり知覚も運動も手指が重要なのです。痛みや麻痺により、手指の細かい運動いわゆる巧緻性が制限されると、多くの日常生活が制限されます。さらに、幼少時に手指の巧緻性を鍛えると集中力や忍耐強さを育むだけでなく、逆に手指の巧緻性が認知機能と強く関連するとも言われ、手指の運動は一過性の認知機能の向上に有効である、と考えられています。手指を痛みなく、そして不自由（障害）なく使えることはとても重要なことなのです。

最近女性の手指の痛みがインターネット上でも話題になっていますが、女性ホルモンが急激に減少する閉経の前後で、女性は様々な疾患により手指の痛みや障害を生じます。当院手外科外来においても、ヘバーデン結節、ブシャール結節、母指 CM 関節症などの変形性関節症や、ばね指、ケルバン腱鞘炎、手根管症候群などの炎症性・絞扼性疾患で受診される、40 歳代以降の女性患者を多く拝見します。これまで、エストロゲンの低下と関節痛の関連やエストロゲン補充療法の関節痛に対する効果については、明らかにはなっていません。近年、イソフラボンの代謝産物であるエクオールがエストロゲン様作用を示すと言われており、手指の痛みを軽減する、という報告もあります。当科でも調査中ですが、現在のところ約 6 割の患者さんが症状の改善を見ており、特にヘバーデン結節の症例で有効と思われました。一方、母指 CM 関節症では効果が劣っており、さらに装具でも痛みの取れない場合には、手術に移行されることが多くなっています。当科の母指 CM 関節症に対する手術法は、Hybrid suspensionplasty という、従来から行われてきた腱を利用した制動術に、tightrope という切れにくい糸を設置する新しい方法を追加しており、多くの方の症状が改善しています。これらの疾患でお困りの方は、手外科外来へ相談にいらしてください。

現在手指の機能に關しては、新しい領域に入ってきています。医療用ロボットであるダビンチ（内視鏡下手術支援ロボット）が使用されるようになり、人間で手では届きにくい部位や見えにくい部位での有用性も報告され、また人間の手では出来なかった動きも可能になりました。将来的には遠隔治療・手術も可能になるでしょう。ただし、手術支援ロボットも人間ほどの細かい動きは困難で、さらに触覚がないという問題点も存在します。整形外科の中でも手外科医は、1mm 程度の血管を顕微鏡下に縫合することもあります。針や糸も非常に細く、10-0 ナイロンという 0.02mm 程度の太さの糸を使用します。もしロボットで血管を縫合するようになった際には、非常に小さい針を把持しますが、触覚がないロボットのアーム（手の部分）では針を壊してしまう、という問題点が存在します。現在触覚のあるロボットや AI（人工知能）の搭載されたロボットも開発されているようで、人間の支援型のロボットを超えた全自動ロボットによる手術という夢のような話も聞かれる日が来るかもしれません。将棋では、棋士と AI とが対局して後者が勝つ、という時代まで来ていますが、いずれは神の手を超える手術用ロボットも現れるのでしょうか。「ロボットは失敗しないので」、と言われる日が来るのが待ち遠しいですね。



整形外科
川崎 恵吉 教授

整形外科
川崎 恵吉



医学講座コーナー ACP(アドバンス・ケア・プランニング)とは

皆さんは、「ACP」という言葉をご存じですか。「ACPとはアドバンス・ケア・プランニング」といい、厚生労働省ではACPの愛称を「人生会議」としています。諸外国でも様々な定義があり、一致した見解は提示されていません。ACPのアドバンスとは「あらかじめ、前もって」を意味しており、「あらかじめケアを計画しておく」というとわかりやすいのではないかと思います。日本のある文献では、ACPとは「将来の意思決定能力の低下に備えて、今後の治療・ケア、療養に関する意向、代理意思決定者などについて患者・家族、医療者があらかじめ話し合うプロセス」と定義しています。

現在の日本においてACPは、特に「人生の最終段階」に集中して実施される場合が多いと思います。厚生労働省は昭和62年以来人生の最終段階における医療のあり方を議論・検討し、「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスにおけるガイドライン」を作成しています。平成30年3月改定ではポイントとして、高齢多死社会が進むという状況を踏まえて、①病院だけでなく、在宅医療や介護の現場でも活用すること、②心身の状態とともに変化する本人の意思（どんな医療・ケアを受けたいか、どのような生き方を望むか）を日頃から繰り返し話し合うこと、③自らの意思を伝えられない状態になった時のために、本人の意思の代理決定者をあらかじめ決めておく（家族等の信頼できる人）、単身世帯の増加を踏まえ意思の代理決定者は、家族だけでなく親しい友人、パートナー等も含めていること、④繰り返し話し合った内容はその都度文書にまとめ、本人、家族等と医療・ケアチームで共有することが重要である」とされています。

現在「誕生」と「死去」は自宅以外で迎えるという習慣が定着し、その場面を実体験することが減りました。「日本人の死生観は、死に逝くものと生き残るものが死について語る習慣があまりなく、家族間で死について語ることを避けようとする」という研究の結果もあります。しかし災害や事故で急にあなたの意思決定を家族等に求められることがある

かもしれません。すべての人は生を受けた時から死に向かって進み続けています。その進み続ける過程で、自分らしく生きるためにも元気なうちから考えるACPが大切です。老いを感じた時、病になった時だけでなく、自分の意思が伝えられる時に「これからの生き方」を考えておきませんか。ここからACPが始まります。

横浜市では、「人生会議（アドバンス・ケア・プランニング）」の普及・啓発を進めるために『もしも手帳』を作成しており、市内全域の福祉保健センター高齢・障害者支援課、在宅医療連携拠点、地域ケアプラザ、薬局、診療所などで配布されているようです。当院でも総合相談センターに置いてありますので、気になる方は立ち寄ってみてください。『もしも手帳』は何度でも書き直していいものです。まず手に取ってみてください。

記入された時には、信頼できる人ともお話し、私たち医療者とも内容を共有していきましょう。



6A病棟
加藤 美穂代 師長

6A病棟
加藤 美穂代



TOPICS 大黒ふ頭クルーズ船へ DMAT 隊が出動しました

新型コロナウイルス（COVID-19）の世界的な流行は、皆さんも危惧されていることと思います。特に神奈川県では、クルーズ船ダイヤモンド・プリンセス号の乗客・乗務員間での多数感染の対応が日本中の注目となりました。多数の医療スタッフが派遣され、感染が確認された方や体調不良の方の対応に当たりました。

当院でも、2月7日（金）に神奈川県の要請を受けて、船内で COVID-19 感染陽性と診断された患者2名を、DMAT（災害派遣チーム）の隊員3名で指定感染症受入れ病院への搬送業務にあたりました。2名の方は、当初は緊張した様子でしたが、医師が問診をしながら雑談をしたことで、次第にリラックスした様子となり、世界中をクルーズ船で旅をしていることなどを話してくれました。最後には、車内で楽しい時間が過ごせたと笑顔でお礼を言われ、搬送先の病院内へ入って行かれました。

また、2月10～11日にかけて国の要請でクルーズ船内での薬剤管理・調剤業務に対応するために DMAT 隊員である薬剤師1名を派遣し、船内の感染リスクの低い部屋で薬剤師業務に従事しました。

当院は、今後も災害拠点病院として国や県の要請に応じて DMAT を派遣し、様々な災害に迅速に対応できる体制を整えていきます。

※出勤した隊員及び車両はアルコール消毒をして帰院し、発症もしていません。



↑ 出発直前の DMAT 隊員
ストレッチャーを積んだ搬送車で出動しました。



↑ 今回出動した隊員
（医師1名、看護師1名、業務調整員1名）

医師の配属・異動・退職

<新規配属医師>

【附属施設より】2020年3月1日付

・後藤 聡 （内科）

東病院 糖尿病・代謝・内分泌内科より



TOPICS ロビーコンサートのお知らせ



ロビーコンサートを開催いたします。
多くの方にお越しいただけることを
お待ちしております。

日時：2020年3月25日（水）18：00～

※院内掲示のポスターをご確認ください。

場所：中央棟1階 会計前ロビー

演奏者：内田ゆう子（ピアニスト）



〈1月のロビーコンサート：ピアノデュオ『Ai Fiori』〉

～ご紹介～

内田ゆう子（ピアニスト）

ここ数年毎年、私の地元でもある北部病院でソロピアノを弾かせていただいております。1年を振り返って旬の曲からクラシック、ジャズ、映画音楽、オリジナル曲を、幅広いジャンルを演奏予定です。リラックスできるひと時をお過ごしいただければと思います。



TOPICS がん相談支援センターについて

がん専門相談員（看護師等）が、患者さんやご家族からのがんに関連した質問や相談をお受けし、情報提供や問題の解決に向けて、一緒に考えていきます。

※個人の秘密は守り、相談されたことにより不利益が生じないように配慮します。

※相談は無料です。

※当院以外の方の相談もお受けしています。

受付時間

月～土曜日（祝日除く）

8：30～17：00

対応時間

月～土曜日（祝日除く）

8：30～17：00

場所

中央棟1階 総合相談センター



TOPICS 栄養科だより

～3月3日ひな祭り～

寒さの中にもどことなく春の訪れを感じるころとなりました。3月3日は、ひな祭りです。ひな祭りの由来は諸説ありますが、本来「上巳の節句」といい3月の最初の巳の日を指していました。

もともとは、邪気や厄を祓うための行事で人形に自分の邪気をうつして川に流すという「流し雛」が行われていましたが、時代とともに家に飾るようになり、のちにひな祭りが3月3日に定められ、女の子の健やかな成長と幸せを願う日として定着しました。

ひな祭りは、桃の節句とも言われますが、旧暦の節句の頃に桃の花が咲く時期であったことや、桃には長寿や魔除けの力があるとされており古くから親しまれていました。

当院も3月3日夕食にひな祭り献立を提供させていただきます。ちらし寿司の寿司は「寿（ことぶき）を司（つかさど）る」という意味があり縁起の良いものという意味があります。

その他にも、春の食材を使用した菜の花のお浸し、四季を表していると言われるひなあられをご用意させていただきます。

三寒四温の季節柄、お身体に気をつけてお過ごしください。



〈昨年のひな祭り献立〉

TOPICS オカピの卒業について

これまで長きにわたり、病院だよりの表紙を毎月飾ってまいりましたオカピですが、2020年4月からの新年度を機に病院だよりを卒業することとなりました。オカピ表紙での発行は今月号が最後となりますので本年度のオカピをお届けしてお別れとさせていただきます。オカピ！今までありがとう！

4月からは新構成で病院だよりを発行します。今後もぜひご覧ください。

8月



9月



10月



11月



12月



1月



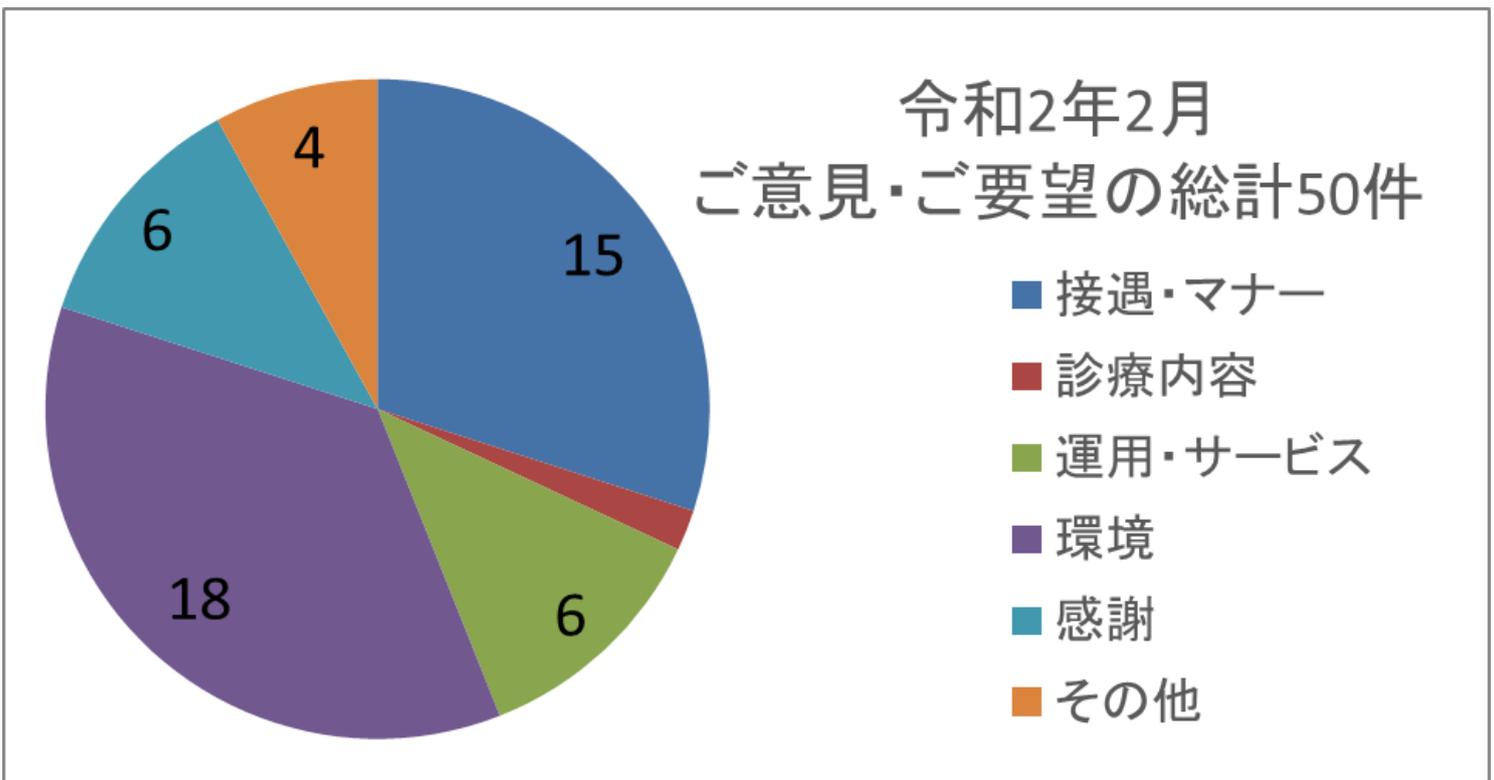
患者さんからのご意見・ご要望

日々患者さんよりいただきましたご意見・ご要望に関しましては、病院長及び関連する部署の責任者に報告し、改善に努めております。

今までのご意見の中で多くいただいたものや最近のご意見・ご要望を中心に改善策を掲載させていただきました。掲載されていない内容についても対応しておりますのでご了承ください。

今後もお気付きの点やご要望をお聞かせくださいますようお願い申し上げます。

ご意見・ご要望	回答・改善等
<p>外来の待ち表示板の呼び出しNo.が4桁ですが、以前のようなA-1やB-2のような表示の方が分かり易いと思います。</p>	<p>新電子カルテシステム更新にご協力頂き、本当に有難うございます。今回のシステムでは昭和大学藤が丘病院、昭和大学リハビリテーション病院とのシステム統合を行い、より効率的で安全な医療を提供することを目標にしております。それに伴い、外来の表示板、呼び出しシステムも他病院と共通のものとなっております。以前のものよりご不便をお掛け致しますが、共通システムであり改修は極めて困難です。ご理解ご協力をお願い致します。</p>
<p>中央棟駐車場に入ったところに車いすを置いてほしいです。西棟から外来へ行く途中には置いてありますが、中央棟から外来へ行くまでには、車椅子を見たことがありません。移動が大変です。</p>	<p>この度は、ご不便をおかけして申し訳ありませんでした。車椅子の設置場所を見直し、中央棟地下3階のエレベーターにも2台新設することと致しました。今後は車椅子の増台も検討しております。</p> <p>ご意見、ありがとうございました。</p>



診療統計

前年同月比 ()内は1日平均

診療実日数 2019年1月(入院:31日・外来:23日)、2020年1月(入院:31日・外来:23日)

	入院患者数	外来患者数	救急搬送数	手術件数
2019年1月	18,320人 (591.0人)	25,957人 (1,128.6人)	657件 (21.9件)	737件 (38.8件)
2020年1月	16,469人 (531.3人)	24,256人 (1,054.6人)	487件 (15.7件)	774件 (40.7件)

TOPICS がんサロンのお知らせ

日時 : 2020年3月19日(木) 14:00~16:00

場所 : 当院 中央棟9階 大会議室

テーマ : がんの痛み止めと緩和ケア、
緩和ケア病棟について

担当者 : 緩和医療チーム薬剤師、緩和ケア認定看護師



編集後記

桜の花が待ち遠しく感じるこの頃、皆様いかがお過ごしでしょうか。3月といえばひな祭りですが、『桃の節句』とも呼ばれるひな祭りは、女の子の成長と幸福を願う行事で、女の子の節句と考えられるようになったのは、江戸時代のころだそうです。我が家もひな祭りの人形と絵画を飾り、「ひなあられ」と「ちらし寿司」を食べ、娘の成長と幸せに暮らせるようお祝いをします。皆さんはどんなお節句をされるのでしょうか？

さて、当院は、開院20年が経過しました。今年はオリンピックイヤーであり、選手の皆さんのご活躍を期待し、一戦一戦応援していきたいと思えます。

4月から新生活のスタート、新たな新入職員を迎えます。この春より新たに加わりました職員共々、患者さんや地域の皆さんとの更なる信頼関係が築けるよう、地域中核病院としての使命を果たしていきたいと思えます。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

〈看護部 佐々木 仁美 次長〉



北部病院だより 第141号

2020年3月1日発行

発行責任者 門倉 光隆(昭和大大学横浜市北部病院長)

編集責任者 緒方 浩顕(広報委員会委員長)

発行 地域中核病院 昭和大大学横浜市北部病院

〒224-8503 横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1

電話 045-949-7000(代表)

URL : <http://www.showau.ac.jp/SUHY/index.html>

北部病院ホームページにて最新・過去の『病院だより』がご覧いただけます。